

社会活動報告書

[活動期間 2021.1.1—12.31]



SHIMANO

人と自然のふれあいの中で、 新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。

当社は上記の使命に則り、長年にわたってお客様にこそるる製品をお届けするとともに、それらをご愛用いただく場や機会をご提供し、健康的なライフスタイルを提案してまいりました。

当社の主な事業分野である自転車や釣りは、自然の中で人のことと
身体の健康づくりに貢献するために存在するものと考えています。

これからも誠心誠意、自転車や釣りの素晴らしさをより多くの方々に伝え、広め、
それらを楽しむ環境の保護に努め、持続可能な社会の実現のため努力を続けてまいります。

チームシマノ社会活動方針

チームシマノは「よろこびの高揚」、「利用環境の改善と保全」、「信頼の構築」の3つを柱として、それぞれの社会活動方針に従って世界中で活動を推し進めてまいります。
またシマノでは、自らの事業に近い分野であること、そして地元への貢献であることを基本とし、身の丈にあった活動を地道に、継続的に行うことが大切であると考えています。



よろこびの高揚

人々に楽しみと
よろこびを提供する



利用環境の
改善と保全

自然環境、生活環境、
製品利用環境の
改善と保全への協力



信頼の構築

地域社会に企業市民として
参加し協働する

チームシマノ社会活動方針 03

社会活動報告書 発刊にあたって 05

企業価値の向上を目指して 06

こころ躍る製品を
シマノを支える人づくり
シマノの模倣品対策の取り組み
シマノを装った不審なサイトへの対策
コンプライアンス促進への取り組み
最新鋭のものづくり拠点を各国に
感染症拡大防止への取り組み
労働安全衛生の強化
安全・品質の強化
自転車通勤推奨活動
自転車・釣りの啓蒙活動

よろこびの高揚 22

新たな価値の創出
魅力あるフィールドの創造
楽しむ場・機会の拡大
文化発信拠点の展開

利用環境の改善と保全 40

持続可能な環境づくりを目指して
美しく良好な地球環境を守るための取り組み
海外拠点の取り組み
身近な環境に対する取り組み
シマノグリーンプラン

信頼の構築 50

寄付・慈善活動
教育支援
地域の自転車利用促進

社会活動報告書を読んで 54

会社案内 56

社会活動報告書 発刊にあたって



当社は1921年に島野庄三郎が堺に小さな鉄工所を興して以来、様々な技術革新を重ねながら地道に事業を継続してまいりました。そして2021年3月、お蔭さまで創業100周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染状況により、世界中の人々が困難な事態に直面し、閉塞感を味わいました。健康的な生活への渴望に加え、世界各国で気候変動対応も進み、健康・環境に対する人々の意識、社会的気運が世界規模で高まりを見せた年であったように思います。こうした状況の中、アウトドアでの健康的なスポーツアクティビティやライフスタイルに注目が集まり、自転車や釣りの魅力も再発見いただけたことは、私共にとりまして大変ありがたいことでした。

持続可能な、という言葉をいたるところで目にするようになりました。次の100年におきましても、当社は「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」という会社の使命に則り、こころ躍る製品と健康的なライフスタイルをお客様にお届けすると共に、豊かな自転車文化・釣り文化を創造すべく、環境に配慮したものづくりや地域貢献活動を積極的に進め、持続可能な社会への貢献に向けて努力してまいります。

この報告書が私どもをご理解いただく一助となれば幸いです。

代表取締役社長

島野 泰三

企業価値の 向上を目指して

こころ躍る製品を

当社の事業活動の基本は、「こころ躍る製品」を社会に提供することです。使いやすく快適に走行できる自転車部品、テクノロジーと感性が融合した釣具はもとより、ウェアやシューズなど、それぞれの世界をより楽しく演出する製品をお届けすること。そして自然とともに楽しむサイクリング、フィッシング、ロウイングの素晴らしさをお伝えすることで、お客様により豊かなライフスタイルを提案していきたいと考えています。

〈自転車部品事業〉

■「DURA-ACE」R9200シリーズ

For those who never compromise
— 決して妥協を許さない人のために

シマノのロードバイク用コンポーネッツのフラッグシップモデル「DURA-ACE」がフルモデルチェンジを果たしました。いまだかつて経験したことのないスピードを追い求め、何年もの歳月を費やし、各コンポーネントの機能を究極の域まで高めた、これまでで最も速く、最も優れた「DURA-ACE」です。



「DURA-ACE」
R9200シリーズ

■「SHIMANO ULTEGRA」R8100シリーズ

Leave time behind
— 時を忘れ、過ごすひととき

シマノの最高峰ロードバイク用コンポーネッツ「DURA-ACE」に次ぐ「ULTEGRA」がフルモデルチェンジ。「DURA-ACE」と同様に12速でセミワイヤレス化した変速システムは、全てのロードバイクユーザーをより上質なライドへと誘います。



「SHIMANO ULTEGRA」
R8100シリーズ

〈釣具事業〉

■海の大物と対峙する「強さ」を備えた 「TWIN POWER SW」

ソルトゲーム用のリールに求められる「強さのカタチ」は実に多様。ハードな使用にも耐える剛性感とタフネス、海水の侵入を防ぐ強固な防水性能、そして何よりも求められるのは巻き上げのパワー。新しい「TWIN POWER SW」の卓越した巻き上げ力と耐久性がもたらす圧倒的な信頼感は、ショア、オフショアを問わず一歩先を目指すアングラーを強力にサポートします。



TWIN POWER SW

■真の軽さを追求したレーシングロッド 「POISON GLORIOUS」

トーナメントという極限の世界で勝つための高性能を求め、2011年の発売以来アングラーたちから好評を得てきたバスロッド「POISON GLORIOUS」が、さらなる進化を遂げて生まれ変わりました。2021年に発売した第三代モデルは、トップトーナメントシーンのみならず全国のローカルフィールド特性を解析し、新たなスタンダードアクションを追求。スパイラルXコアをはじめとする最新テクノロジーを駆使し、ルアーごとに異なる操作に基づく「真の軽さ」を導き出し、より多彩なフィールドで使用できるレーシングロッドへと進化しました。



POISON GLORIOUS

■ICAST2021においてG.LOOMISのロッド 「NRX+ T2S」が受賞

アメリカ最大級の釣具展示会ICAST (International Convention of Allied Sportsfishing Trades) にて行われた新製品のショーケースで、G.LOOMISのフライロッド「NRX+ T2S」が「Best of Category : Fly Fishing Rod」賞を受賞しました。

「NRX+ T2S」は、革新的な素材、技術、デザインの融合により、最も厳しい条件下でもアングラーのパフォーマンスを最大限に引き出します。



NRX+ T2S



表彰盾



シマノを支える人づくり

シマノでは、各国の研修において企業理念やものづくり思想、企業文化のさらなる浸透に力を入れています。2021年も、沿革史や製品開発、文化創造への取り組み、拠点の広がりなどを様々な観点からまとめた動画を活用。100年の歴史の中で当社が培ってきた企業文化から、現在、そして未来にも変わらず求められる本質を学ぶことで、世界中に広がるチームシマノメンバー共通の企業理解とチームシマノの結束の強化を図りました。新型コロナウイルス感染拡大に対応し、オンラインで開催するなどの工夫を凝らし、困難な状況下においても人材の育成の継続に努めました。

シマノアカデミー '13年スタート

シマノアカデミーは、役員から新入社員まで幅広いメンバーを対象としたシマノヨーロッパグループの教育プログラムです。個人と組織の能力開発、シマノのビジネスとコアコンピタンスの向上を目的とし、従業員のキャリア開発に効果を発揮しています。



強いチームシマノをつくる活動 '17年スタート

活力ある従業員を育成し、組織の力を高めるためのプログラムです。シマノヨーロッパ(オランダ)の全ての従業員が自己啓発し、幸福になれるよう、原動力に繋がる要素を学びます。



内定式やインターンシップなどをオンラインで開催

※プライバシーを考慮して画像を処理しています。

3年目研修

シマノ本社は毎年、入社3年目の従業員に対して「3年目独り立ち研修」を行っており、2021年はオンラインで実施しました。2日間の研修を通して、受講者は自分の自立度を振り返り、今後のキャリアイメージを描き、シマノで成し遂げたい目標を設定しました。

通信教育

シマノ本社は、階層別研修やリーダー研修に加え、通信教育制度の充実を図っています。語学研修に加え、業務に関連する技能や社会人として推奨される知識に関する検定など、幅広く扱っています。また、これらの受講費用を会社が補助し、従業員の知識向上を支えています。

通信教育申込数(2017-2021年)					
Year	2017	2018	2019	2020	2021
申込数	197	187	187	160	156

語学研修集計(2017-2021年)						
Year	言語	2017	2018	2019	2020	2021
集合研修	英語	55	46	26	-	-
	中国語	16	14	18	-	-
オンライン	英語	44	77	111	192	96
	中国語	-	-	-	35	13
計		115	137	155	227	109

※2020年、2021年は集合研修開催中止のため、オンラインのみ実施

ラインリーダー研修 '17年スタート

シマノバタムは、ラインのリーダーに対して週2回、研修と説明を実施しています。製造や会社に関する知識を共有し、研修後に評価テストを行います。



管理職の後継者育成計画 '21年スタート

シマノバタムは、キャリアマッチングシステムを活用して、管理職レベルの後継者育成計画を進めています。

ストレス軽減のための研修を実施 '20年スタート

シマノトルコは、従業員のストレスを軽減し、リラックスする時間を増やすため、ストレスに向き合うための研修と、組織のスキル向上のための研修を実施しました。

英語研修を実施 '19年スタート

シマノトルコは、厳選された講師による英語研修を実施し、ほとんどの従業員が各拠点と十分にコミュニケーションできるようになりました。

従業員の意識評価を実施 '21年スタート

シマノUKは、個々の従業員が自分自身をどう見ているか、同僚からどう見られているかについて調査しました。お互いの個性を知ることによってコミュニケーションを円滑にし、誤解を減らしていくことが狙いです。



クロストレーニングプログラム '17年スタート

Innovative Textiles, Inc.は、従業員が社内の様々な部署を異動し、新たなスキルを学ぶ機会を提供しています。このことは、従業員の満足と働く喜びの向上につながっています。

新入社員向け研修プログラム '21年スタート

G.Loomisは、新しく入社する全従業員に対して、目的意識を持ち、企業文化を理解し、成長の機会を活かし、会社や同僚と良い関係を築けるように、総合的な説明と研修を実施しています。

大卒の新入社員研修 '11年スタート

シマノ昆山は、毎年大卒の新入社員研修を実施しています。



従業員に春節の二行連句を贈呈 '21年スタート

シマノ連雲港は、春節を前に書道愛好家を招き、従業員のために二行連句*を書いてもらいました。

*赤い紙に書いて家の入口などに貼る縁起のいい対句



中国 応急処置訓練を実施

'21年スタート

シマノ天津は、赤十字協会から講師を招き、救助チームのメンバーを対象に、止血や包帯の巻き方など応急処置の訓練を実施しました。この訓練は専門の医療従事者が到着するまでの間、負傷者の応急処置を行うためのものです。



中国 永年勤続表彰

'14年スタート

シマノ昆山は、従業員の永年の勤続と努力、会社への貢献に感謝し、対象となる従業員に褒賞を授与しています。2021年は、166人が受賞しました。



USA 応急処置訓練を継続実施

'06年スタート

Innovative Textiles, Inc. は、部署ごとに第一対応者を決め、緊急な医療状況が生じた際は、専門の医療従事者が到着するまでの間、応急処置ができるよう訓練しています。

Belgium 拠点对抗サッカー大会を開催

'21年スタート

シマノベルギーは、シマノヨーロッパ(オランダ)、Lazer Sport N.V. (ベルギー)とサッカー大会を開催しました。1位はLazer Sport N.V.、2位はシマノヨーロッパ、3位はシマノベルギーという結果になりました。

Taiwan 社員旅行を実施

'18年スタート

シマノ台湾の子会社 PRO 台湾は、従業員の日頃の努力に報い、従業員同士の交流を深めるため、毎年、全従業員とその家族を招待して社員旅行を実施しています。



Australia, Indonesia, China, Japan 防災訓練

'21年スタート

各拠点では緊急時に備え、従業員の防災訓練を行っています。



シマノ天津



シマノ昆山



シマノ熊本

シマノの模倣品対策の取り組み

近年、当社の製品や補修用パーツの模倣品が世界各地で流通していることを確認しています。模倣品は一般のお客様に対する品質問題(事故・ケガ)を引き起こすだけでなく、お客様やお取引先様の不利益につながるようになるため、当社では模倣品の撲滅に向けて毅然とした態度で対応してまいります。

〈具体的対策〉

- 関係当局へ情報提供を行い、当局による模倣品製造業者及び模倣品の販売取り扱い業者に対する行政、刑事摘発を促進
- 模倣品製造業者及び模倣品の販売取り扱い業者に対する警告、民事訴訟
- 税関へ情報提供を行い、模倣品の水際取り締まりを促進
- ECサイトにおける模倣品出品の削除申請
- 一般消費者様や販売店様へ向けた注意喚起の実施
- 製品自体における対策として、模倣しにくい特殊な素材を製品パッケージに採用/正規品を判定するアプリの導入と特殊技術を用いたラベルをパッケージに貼付

中国での取り締まり時に押収した模倣品



模倣しにくい特殊な素材を使用した部品のパッケージ



正規品を判定するアプリの導入

シマノを装った不審なサイトへの対策

昨今、シマノ及びシマノグループを装った不審なサイトが散見されています。お客様が悪質なサイトの利用によって被害を受けないよう、不審なサイトの発見時の対応ワークフローを明確にし、速やかに対策を講じてまいりました。

〈対策の事例〉

- ウェブサイトの削除要請、警告書の送付
- 警察への協力要請
- 当社コーポレートサイトでの注意喚起

また、不審なサイトによる被害を未然に防止するため、入力されたURLがシマノ公式サイト*のものであるかを判定するシステムを、当社コーポレートサイト内に開設しました。今後も、お客様が安心して当社製品を購入いただけますよう、対策を継続・強化してまいります。

*シマノもしくは、連結対象子会社、関連会社が管理・運営しているサイト(SNSアカウントは含まない)



コンプライアンス促進への取り組み

シマノでは、チームシマノが事業活動で遵守すべき方針を「行動規範」として定めています。その「行動規範」に基づく「コンプライアンス規程」や「コンプライアンスガイドライン」の制定、「コンプライアンス意識調査」の実施、「コンプライアンス相談窓口」の設置など、チームシマノが目指すコンプライアンス体制を確立するために必要な3つの要素「意識の醸成」、「知識の習得」、「行動の促進」の向上を目指し、様々な活動に継続的に取り組んでまいりました。

2021年に、チームシマノのみでなくサプライチェーン上の人権を尊重するべく、「ベンダー行動規範」を制定し、取引先による理解と実践を要望する取り組みを開始しました。2021年のコンプライアンス活動については、2019年に導入したeラーニングを継続し「コンプライアンスガイドライン」に記載の重要な22テーマから毎月1つのテーマを全ての従業員が受講し97%の受講率となりました。また、全ての従業員に対するコンプライアンスに関する意識調査も実施しました。

引き続き、従業員一人ひとりが良識ある企業人としての意識と、高い遵法精神をもって知識を習得し、意識と知識を活かして仕事に取り組めるよう、意識調査結果に基づいて、コンプライアンス活動の推進に努めてまいります。

コンプライアンス活動

国内対象

・階層別研修

対象：新入社員、新任管理職、管理職

・eラーニング研修

実施テーマ数：12テーマ（製品の安全性、パワハラ、人権、環境等の重要なテーマ）

研修受講率：97%

・周知活動

毎月の朝礼放送や各テーマのチェックポイントを電子掲示板にて周知

・専門部会活動

下請法遵守活動として3か月に1度開催

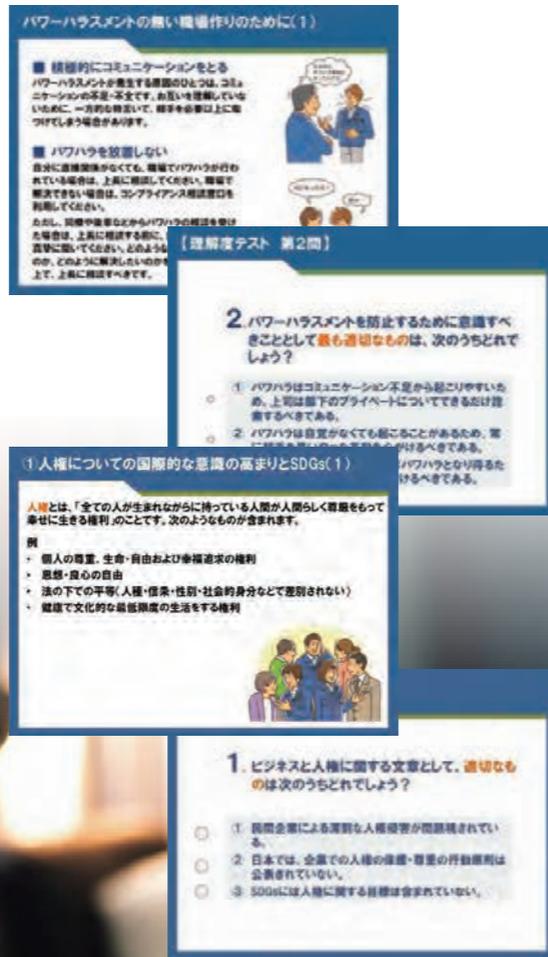
国内・海外対象

・eラーニング研修

対象：全管理職

実施テーマ数：企業の社会的責任とESGについて

研修受講率：91%



競争法に関する研修を実施

シマノトルコは、競争法に関する法的な事項についての研修を実施し、従業員は取引先へ依頼する際の対処の仕方などを学びました。

コンプライアンスのeラーニング

シマノバタムは、全従業員を対象に、製品の安全性確保、企業秘密の管理、個人情報保護など、コンプライアンスに関するオンライン研修を実施し、理解度を確認するための評価テストを行っています。

新入社員への内部統制報告制度研修

シマノバタムは、新入社員を対象に、内部統制報告制度の条項に関する研修を行っています。

コンプライアンスのeラーニング

シマノシンガポールは、社内コンプライアンスeラーニングを開始し、従業員は6カ月で22項目を履修します。シマノのガイドラインに沿って業務を遂行することで、シマノが価値創造企業であり続け、事業の持続的成長につながることを目指しています。

コンプライアンスのeラーニング

シマノ上海は、全従業員を対象に、個人情報の保護、独占禁止法の遵守、輸出入法の遵守などコンプライアンスの基本的な知識についてのeラーニングを開始しました。資料や評価テストの内容は本社のものを基本とし、中国の法律や規制に合わせて調整しています。

コンプライアンスセミナー

シマノ上海は、管理職とコンプライアンス担当者を対象に、年2回コンプライアンスセミナーを実施しています。受講者は中国の法改正に合わせて決めたトピックについて弁護士から詳細な説明を聞き、日常業務での適切なコンプライアンス管理を行います。2021年のテーマは「製品の安全性の確保」と「消費者保護と保証サービス」でした。



コンプライアンス研修

シマノ昆山は、毎月新入社員向けのコンプライアンス研修を実施。2021年2月から対象を全従業員に広げ、研修とオンラインテストをしています。



全従業員に対する様々な分野の研修

シマノ台湾は、全従業員を対象に様々な研修を行っています。コンプライアンスや会社の規則に関する事項を月例会議で発表し、eラーニングやクイズを使って理解度をテストします。さらにその結果を分析して共有し、間違いから正しい答えを学びます。重点項目については、専門家によるセミナーを実施し、理解を深めます。2021年は、独占禁止、不当競争、下請けに焦点を当てました。



コンプライアンス順守の取り組み

PRO台湾は、毎月全ての従業員を対象にコンプライアンス研修を行っています。

最新鋭のものづくり拠点を各国に

企業ビジョンに「価値創造企業」を掲げ、ものづくり企業として目指す姿を「開発型デジタル製造業」と位置づけるシマノにとって、企画・開発を含めたものづくり現場の進化は、企業としての成長そのものです。日本とシンガポールの新たな施設をはじめ、ものづくり機能の集約と先進的な設備の導入を通じて、かつてないイノベーションを生み出しています。

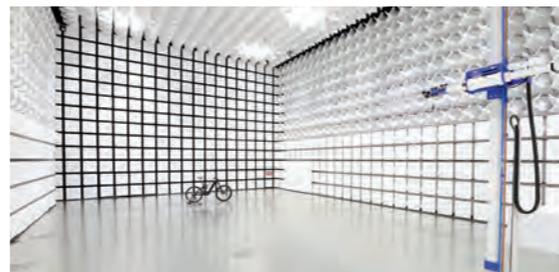


シマノの未来を創造する Technology Innovation Center

企画・デザイン・開発など、ものづくりに関わる部署を集約して誕生したTechnology Innovation Center (TIC) は、開発型デジタル製造業・シマノを体現し、新たな価値創造の中心的役割を担います。最新鋭の開発機器や生産設備を駆使し、ここで未来のこころ躍る製品が生み出されています。地下には、自転車部品の組立を担うTIC工場が新設され、安全管理とともに徹底した生産効率化を追求。並行して、大幅な自動化・無人化にも挑戦しています。さらに、電子部品の増加に対応した電波暗室や、チェーン、モーター、ギアなどの音を測定する無響音室を設置。また最新鋭の計測・分析装置や3Dプリンタなどを導入しました。これらの精密測定技術と設計から製造に至る高度なシミュレーション技術により、今後の開発プロセスそのものの変革を担います。川上から川下までの一貫体制による各部門の綿密な連携の下、Shimano Digital Manufacturing (SDM) プロジェクトと連動した新次元のものづくりが始まっています。



Technology Innovation Center (大阪府堺市)



電波暗室

海外生産拠点のハブとなる Shimano Singapore Intelligent Plant

2022年1月に竣工したシンガポールの新工場Shimano Singapore Intelligent Plantは、製品の開発・製造だけでなく、アジアを中心とした地域統括拠点としても重要な役割を果たします。

ものづくりでは、新製品開発に取り組むとともに、海外におけるリーディング・マニュファクチャリング・プラントとして冷間鍛造、板金、切削、熱処理といった生産技術のハブ機能も担っています。一方で、海外工場の管理サポートから、マネジメントスタッフの育成、物流ハブとしての役割まで、その業務は多岐にわたります。

こうした高度で多様な業務を遂行するため、積極的にIIoT*化を推進。ものづくりのあらゆる段階で情報の収集・管理と見える化を進め、エネルギーやセキュリティからロボットの稼働状況まで、工場全体の管理システムを構築しています。また、より安全な職場環境の構築として、従来以上に積極的に自動化に取り組んでいます。

*Industrial Internet of Things

次世代のものづくりを体現する シマノのインテリジェントプラント

最先端のものづくりと徹底した生産効率化を実現するインテリジェントプラントは、世界中に広がっています。



シマノ本社工場 (大阪府堺市)
Sakai Intelligent Plant



シマノシンガポール 新工場 (シンガポール・Bulim Walk)
Shimano Singapore Intelligent Plant



シマノ下関工場 新工場 (山口県下関市)
Shimano Shimonoseki Factory Intelligent Plant



シマノ昆山 第2工場 (中国・昆山市)
Kunshan Intelligent Plant

感染症拡大防止への取り組み

■ 感染症防止対策

シマノでは、2019年末から2020年初頭に発生し、世界中でなお猛威をふるっている新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、様々な活動に取り組んでいます。今後も従業員とその家族、地域、ひいては社会全体の安全を守るため、グループ全体として万全の対策を講じてまいります。

シマノ本社の取り組み

シマノ本社では、国内で感染が広がり始めた2020年3月初めに「COVID-19 対応マニュアル」を制定し、以来感染状況に応じて適宜見直しを行いながら、産業医・労働組合と連携して速やかに対策を講じてまいりました。その結果、2021年、シマノ本社でのクラスターの発生をゼロに抑えることができました。

〈感染症対策の事例〉

● 会社環境の3密回避

- 在宅勤務制度の導入
- オンライン会議システムの整備によるリモートワークの推奨
- 会議室・社用車・エレベーターの定員制限
- 社員食堂の利用時間区分の変更（3交代制→7交代制）
- 社員食堂・会議室へのクリアボード設置

● アルコール消毒台の増設

● 感染者発生時の対応

- 社員食堂の座席利用状況の把握（社員番号記入帳による濃厚接触者の追跡）
- 産業医との連携による濃厚接触者の特定、隔離措置
- 職場の消毒

● 新型コロナワクチンの職域接種の実施

- 従業員、家族、協力会社様を対象に実施



エレベーターの定員制限、立ち位置誘導表示



オンライン会議システムの活用



食堂（クリアボード設置）



社員番号記入帳

金曜日のリモートワークを定着化 '21年スタート
Lazer Sport N.V. は、7月から従業員が週1回の自宅でのリモートワークを試し、金曜日のリモートワークが定着しています。

リモートワーク体制を整備 '21年スタート
シマノニュージーランドは、政府のコロナ禍への対応を受けて、シマノと周辺地域の安全を可能な限り守るため、従業員が自宅でリモートワークができるよう、様々な対策を講じています。

感染防止対策の徹底 '20年スタート
シマノUKは、従業員の健康を守るため、オフィスに防護スクリーンを設置し、定期的に検査をするという厳格な健康管理方針を定めています。訪問者には抗体検査を受け、結果の陰性証明を提示するよう求めています。

感染防止対策の徹底 '21年スタート
シマノイベリアは、当初から在宅勤務を実施して感染予防に取り組んできました。また、従業員が50%ずつローテーションで出勤して感染を防ぎ、安全を確保することで、品質保証とサービスを確実に実行しています。



労働安全衛生の強化

■ ISO45001 を取得

2021年9月、シマノ本社は労働安全衛生の国際標準規格であるISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）を取得しました。旧安全衛生規格OHSAS18001（2021年3月に廃止）では、シマノの従業員のみが対象でしたが、ISO45001では間接的にシマノに関わる全ての方々（近隣住民の皆様、お客様、協力会社様など）も安全衛生を考慮する対象となります。また、リスクの対象についても、旧規格では物理的な危険源（はさみ、カッターなど）を対象としていましたが、ハラスメントやいじめなど社会的要因も加わりました。

シマノが2018年から行っている「守破離プロジェクト」では、安全で衛生的な職場を会社として整えられるよう取り組んでいます。このプロジェクトのテーマは「安全な人づくり」。安全な環境があっても、一人ひとりの安全意識が低ければ、本当の意味での安全な職場は生まれません。安全で衛生的な環境の整備と安全な人づくりの両輪を動かし、シマノに関わる皆様の安全を守るために、今後も取り組みを強化・継続してまいります。



■ 職層別ヘルメット（帽子）の設定

入社間もない慣れない作業員でも、現場で起きたトラブルに対して誰に指示を上げばよいかを一目で分かりやすくするため、職層別に帽子を色分けしました。

（色分けの例）



管理職・現場リーダー

派遣リーダー

■ SIP (Sakai Intelligent Plant) 安全ルールブックの作成と配布

シマノ本社工場 (Sakai Intelligent Plant) で働くメンバー全員を対象に、危険を回避するためのルールをいつでも見返せるよう、工場へ入る際のドレスコードをはじめ、緊急時の対応、AGF（無人搬送機）の特徴、資格が必要な作業などを掲載した安全ルールブックを作成し、配布しました。



安全・品質の強化

● チームシマノ学びの場 '20年スタート

シマノ本社は、2020年に「安全・品質 学びの場」を開設。「安全道場」と「品質道場」の2つのブースで構成され、過去に発生した重大な事故や品質問題から得た教訓・体験知をわかりやすく展示。従業員一人ひとりが安全・品質に対する感度を高めていくための学びの場となっています。



■ 危険予測・安全行動の研修 '21年スタート

シマノバタムは、製造現場の安全強化訓練を行っています。KYT（危険予測訓練）、BBS（安全行動訓練）の2つの訓練により、積極的に事故防止に努めています。



■ 製造現場の安全強化 '21年スタート

シマノ天津は、データ管理と職場の安全について専門家による監査を受けました。その結果、100点中90.2点で、労働安全標準化レベルII（75以上）に合格。これを安全管理改善の中間目標として継続的に安全管理レベルを高め、会社の健全で持続可能な発展を実現します。



■ 職場での安全・健康意識の醸成 '20年スタート

シマノシンガポールは、職場の安全、健康、環境などへの意識を高めるため、毎年キャンペーンを実施しています。今回は滑りや転倒防止のため、機械周囲の床の清掃、階段の左側通行、携帯電話の適正な使用に焦点を当てました。

■ 従業員の健康診断と健康相談を実施 '02年スタート

シマノ昆山は、従業員の健康意識を高めるために、毎年健康診断と健康相談を実施しています。



■ 緊急時に備えた訓練を実施 '05年スタート

シマノ天津は、環境汚染を防ぎ、従業員の安全と財産および周辺環境を守るため、緊急事態に備えた訓練を行っています。従業員は有害化学物質の性質と緊急時の適切な措置などを学び、万が一の場合の損失を最小限に抑えることができます。



■ 従業員の健康診断を実施 '18年スタート

PRO台湾は、毎年全従業員を対象に健康診断を実施しています。診断結果から自分の健康状態を理解し、よりよい自己管理に役立ててもらいます。

● 社内安全教育 '95年スタート

シマノ熊本は、設備の導入や法改正にあたり必要な安全教育を随時実施しています。

自転車通勤推奨活動

シマノでは、自転車通勤を積極的にサポートしています。電車のラッシュや交通渋滞に遭うことなく、健康にも良い上、現下ではコロナ禍への対応策の一つとしても、自転車通勤をする従業員が増えています。

■ シマノ本社自転車通勤制度

● 気持ちよく仕事ができることを考えた設備

本社厚生棟 Team Shimano Square (TSS) 1階には、自転車通勤者のために約550台が収容できる駐輪場が整っています。浴場をはじめシャワーブース、ロッカールームを完備。また、コンプレッサー式空気入れや共用工具も備え、自転車のメンテナンスもしやすい環境になっています。

● 約4割が自転車通勤

約4割の本社正社員・契約社員が自転車通勤の登録をしています。

● 自転車通勤手当の支給

自転車通勤を奨励するため、ヘルメット着用者には月5,000円の手当を支給しています。

● 自転車及びヘルメット購入補助金の支給

通勤用の自転車及びヘルメットの購入代金に応じて一定の補助金を支給しています。

■ 社内安全教育

社内のスポーツバイク初心者向けに「交通安全教育」を実施。日常点検や基本的な整備方法を、実車を扱いながら学ぶ講習会を開催しています。

※2021年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催していません。

■ 自転車通勤を補助

'20年スタート

Lazer Sport N.V.は、自転車通勤の費用補助と、希望者への自転車の貸与を行っています。

■ モビリティハブを設置

'21年スタート

シマノイタリアは、自転車通勤を促進するため、自転車通勤する従業員や関係者のためにモビリティハブ(自転車置き場)を設置しています。

■ ゴー・カーレスを実施

'09年スタート

PEARL IZUMIは、自動車を使わない通勤を奨励しています。従業員が自動車に乗らなかった通勤距離を記録し、それに対して付与されるポイントに応じて景品を贈呈しています。



自動車1台分のスペースに13台の自転車が収まる駐輪場



社内安全教育(写真は2018年のもの)



自転車・釣りの啓蒙活動

● シマノドリンクング

シマノ本社には、1978年に発足したサイクリングクラブ「シマノドリンクング」があります。従業員自ら自転車レースを楽しむのはもちろんのこと、その体験をものづくりの現場に落とし込み、新製品開発につなげるという重要な役割を担っています。



● ソーシャルライドを実施

'21年スタート

シマノベルギーは、9月にオフィス近くのHagelandを走り抜ける、従業員向けの3時間のライドイベントを実施しました。

● 従業員のサイクリング

'16年スタート

Lazer Sport N.V.は、毎週火曜日に従業員の仲間意識の強化と心身の健康、製品テストを兼ねたサイクリングを実施しています。2021年はコロナ禍のため人数を制限して行いました。

● Go Outside Challengeを実施

'20年スタート

PEARL IZUMIは、サマーライドをGo Outside Challengeとして実施し、外出しない人、身体的に自転車に乗れない人、従業員の家族や友達にも参加枠を広げました。全ての従業員がもっと自転車に乗り、外で活動することを奨励するのが目的で、活動記録にポイントを付与し、賞を贈呈しました。



● バイクメンタープログラムを実施

'21年スタート

PEARL IZUMIは、自転車や地域のことをあまり知らない従業員を対象に、バイクメンタープログラムを実施。受講者が自信を持って自転車に乗れるよう、知識・経験豊富な従業員がメンターとなり、乗り方や技術・メカニクスを教えました。



● サイクリングクラブを設立

'21年スタート

シマノ上海は、健康的で環境にやさしいライフスタイルを促進することを目的に、サイクリングクラブを設立しました。実践的な活動により従業員の健康を増進し、物事に挑戦する自信と勇気を育てます。



● フィッシングクラブを設立

'21年スタート

シマノ上海は、釣りを通じて従業員の仕事のストレスを和らげ、幸福感を維持し、シマノの釣具製品への理解を深め、自然の美しさを楽しんでもらうことを目的に、フィッシングクラブを設立しました。



● サイクリングイベントを開催

'13年スタート

シマノ崑山のサイクリングクラブは、自転車文化を広めるため、千島湖までの自転車ツアーを開催し、38名が参加しました。



● 創業100周年記念釣り大会

'09年スタート

シマノ崑山は、シマノ創業100周年を記念して、従業員の余暇の充実と釣り文化高揚のために、釣りクラブ主催の釣り大会を行いました。



● サイクリング活動に参加を奨励

'20年スタート

PRO台湾は、KPI評価の一環として、自転車に対する知識や興味の向上を目的として、従業員にサイクリング活動への参加を奨励しています。

よろこびの高揚

——シマノの考える文化創造活動とは

「こころ躍る製品」——それは人々に自転車・釣り・ロウイングの楽しさを満喫していただくものです。そして、その楽しさをより多くの人々に伝え、その機会を提供していくことも、当社の重要な活動の一つです。当社が主催・協賛している様々な自転車・釣り・ロウイングのイベントは、人々の楽しみ場であるとともに、交流の場にもなるものとして大切にしています。

今回は、「新しい自転車文化・釣り文化の創造を目指して」と題し、シマノが価値創造企業として取り組んでいる文化創造活動について「新たな価値の創出」「魅力あるフィールドの創造」「楽しむ場・機会の拡大」「文化発信拠点の展開」を柱にご紹介します。

新しい自転車文化・釣り文化の創造を目指して

より多くの人々に、楽しみとよろこびを提供するために



テーマ1 新たな価値の創出

今日、自転車・釣りの文化的価値や社会的役割は大きく変化しています。シマノでは時代の変化に合わせて、自転車・釣りの文化的価値を見直し、情報発信とともに製品を通じて新たなライフスタイルの創出を後押ししています。



テーマ2 魅力あるフィールドの創造

一流アスリートが競い合う自転車ロードレースや、卓越した釣技を披露するインストラクターの魅力あふれる最前線のシーン。シマノは、そうした“夢が生まれるフィールド”をあらゆる側面からサポートし、自ら創り上げる活動を積極的に展開しています。



テーマ3 楽しむ場・機会の拡大

サイクルスポーツや釣りのイベントを世界各地で開催・協賛してきたシマノ。観客の皆様にも楽しさを感じてもらえるような工夫、また自転車・釣りの新興国における積極的な展開により、文化としての発展を支えます。



テーマ4 文化発信拠点の展開

製品開発やイベント開催はもちろん、自転車・釣りの歴史や楽しみ方などの知識や情報を発信することもシマノの重要な責務。それを実践する“シマノ発文化発信の場”の運営・展開を行い、新しい体験や価値を共有していただくことに努めています。



テーマ1
新たな価値の創出

自転車と健康をテーマにした研究開発をさらに推進していくために、「調査研究」「普及・啓発」「情報発信」の3つの柱で本格的な活動を展開しています。

01

自転車と健康
『Cyclingood』

自転車と一緒に作る、健康的で豊かな暮らしの提案。



自転車運動によるエネルギー代謝や筋力の維持・増強、そしてメンタルとの関係性など、幅広いテーマについて大学や研究機関と共同で実施してきた研究の成果を、企業や自治体に共有することを通じて、人々の健康づくりに貢献しています。

こうした社会的アプローチの一方、自転車を取り扱う店舗や健康に関心のある施設、ユーザーに自転車と健康の関わりを中心とした情報発信として『Cyclingood』（サイクリングッド）フリーペーパーとウェブサイトを展開。また、通勤サイクリングを提案するウェブサイト『MIND SWITCH』や、研究結果を分かりやすく表現した『Health Data File』などがあります。

『Health Data File』は、自転車まちづくりや、住民・従業員の健康づくりなどのために、様々な情報をダウンロードしていただき、ご活用いただいています。

変わりゆく社会の中で、「健康」はさらに重要性を増しています。シマノはこれからも、自転車の魅力や価値を多くの人に伝えることにより暮らしを豊かにする取り組みを通じ、業界や社会の発展に貢献してまいります。



自転車運動による効果をデータを用いて解説

地域	市町村	連携先
東北	香取県	県土整備部 健康推進課
	宮城県仙台市	市民局生活安全課 自転車交通安全課
関東	茨城県神栖町	企画部 健康企画課
	神奈川県横浜市	運動健康部 交通安全・自転車対策課
	神奈川県川崎市	建設部 自転車対策推進課
北陸	新潟県	スポーツ部 運動推進課
	石川県金沢市	観光政策部 スポーツ推進課
東海	岐阜県	県土整備部 建設課
	静岡県中山市	経済産業部 農工部課
	愛知県名古屋市	建設土木部 建設課 自転車対策推進課
	愛知県豊田市	建設部 建設企画課

『Health Data File』の自治体での活用事例を『Cyclingood』ウェブサイトで紹介



『MIND SWITCH』



『Cyclingood』フリーペーパー



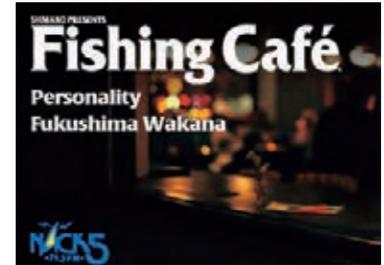
02

釣りの魅力発信
『Fishing Café』『釣り百景』
『おとな釣り倶楽部』『SHIMANO TV』

シマノは時代とともに進化し、発展してきた“文化としての釣り”の楽しみを、より多くの人々に紹介する活動を大切にしています。国内におけるその活動の一つが、クロスメディアによる情報発信やコラボレーションであり、これらは釣り文化の創造を図り、釣り業界の振興と発展を目指した継続的な取り組みです。

『Fishing Café』

釣りを愛する全ての人が、気ままに集ってお茶でも飲みながら釣りについて語り合うことができたら…という思いから始まった『Fishing Café』。これまでは雑誌やウェブサイト、YouTube動画で発信されてきましたが、新たに『Fishing Café』のラジオ放送が2021年4月3日にスタートしました。



毎週土曜 18:40~19:00に FM NACK5で放送

『釣り百景』

各界の著名な釣り人やその道を極めたアングラーたち。それぞれの釣りスタイルや信念、個性豊かな人物像にスポットを当て、多種多様な釣りのスタイルと雄大な自然の中で紡がれる人間ドラマを描き出しています。



釣り紀行番組「釣り百景」

『おとな釣り倶楽部』

釣りを中心とした余暇の過ごし方を提案し、人生をより豊かにすることを目的としたシニア世代向けプロジェクト。TV番組をはじめ、YouTubeによる動画配信も展開しています。



『おとな釣り倶楽部』YouTubeによる動画配信

『SHIMANO TV』

世界規模のフィッシングチャンネル『SHIMANO TV』は、多彩な釣り動画を24時間365日お楽しみいただけます。2021年11月30日に『SHIMANO TV』ウェブサイトのサービスは終了。その後は『YouTube SHIMANO TV 公式チャンネル』でコンテンツを配信しています。



YouTube SHIMANO TV 公式チャンネル

テーマ2

魅力ある
フィールドの
創造

国際的なプロレースからローカルのアマチュアレースまで、
世界で開催されている自転車競技やイベント。
釣法や道具の進化で新たな楽しみが広がっていく釣り最前線のフィールド。
シマノはそれらの現場を支え、後押しする継続的な活動を通じて、
自転車・釣り文化の振興と社会的価値の向上に努めています。

01

東京オリンピック・パラリンピックの ソールサプライヤー

世界中を盛り上げた東京オリンピック・パラリンピック。シマノはソールサプライヤーとして自転車競技備品・リペアサービスを提供し、大会を陰で支えました。国内外の各拠点から従業員を派遣し、競技会場でのニュートラルサポート(28頁参照)や大会運営のサポートを行いました。



02

A.S.O.主催レースの ニュートラルサポートパートナーとして

2021年より、A.S.O.*が開催する自転車レースのニュートラルサポートパートナーとなりました。ニュートラルサポートとは、機材を積んだ自動車でレースに帯同し、レース中に発生した選手のあらゆる機材トラブルに対応することで、全ての選手が一刻も早くレースに復帰するサポートを行う役割を担います。

シマノは長年にわたるニュートラルサポートの経験とノウハウを活かし、これまで以上に自転車レースへ貢献するとともに、シマノブランドへのさらなる信頼感の醸成につなげてまいります。

*Amaury Sport Organisation:
ツール・ド・フランスをはじめ、世界的なスポーツ大会の主催を行うフランスのスポーツメディアグループ



03

自転車選手・チームのサポート

サイクルスポーツ文化の発展を支える。

世界のプロ・アマチュア選手およびチームへのスポンサー活動

シマノはロードレースをはじめ自転車競技へのスポンサー活動を幅広く展開しています。世界を転戦するスポンサーチームや選手たちが、どこへ行っても均一に高いレベルのサービスが受けられるよう、世界中に広がるシマノのマーケティングチームが情報を共有し、活動を行っています。

パラサイクリングへのサポート

1990年代後半からシマノはUCI(国際自転車競技連盟)とのパートナーシップを通じて、障がい者の自転車競技パラサイクリングをサポートしています。スポンサーや製品提供のみならず、「シマノ鈴鹿ロード」ではハンドバイクのエキシビジョンレースを開催することにより、競技の認知拡大に貢献しています。



世界中の選手・レースのスポンサー活動を展開し自転車文化の向上に努める



グローバルにプロ・アマチュアチームをスポンサー



2019年シマノ鈴鹿ロードハンドバイクエキシビジョン

安全に楽しく走っていただくためのテクニカルサポート



2021 Tour of Japan

2021年全日本自転車競技選手権大会ロードレース

04

レースサポート

競技者の安全と万全なレース運営を支える取り組み。

先に挙げたオリンピック・パラリンピックやA.S.O.主催レースだけでなく、世界最高峰のプロレースから一般のサイクルイベントまで、安全に楽しく走っていただくために、様々なテクニカルサポートを展開しています。



05

シマノレーシング

日本のサイクルスポーツの発展拡大に向けて。

シマノレーシングは、1973年の創設以来、日本チャンピオンや五輪代表選手を輩出している強豪チームです。トレーニングや実戦での評価を製品開発にフィードバックするという、テストライダーとしての重要な役割も担ってまいりました。現在はその役割に加え、国内レースシリーズの発展支援やファンに向けた情報発信、初心者や子ども向けの自転車教室など、長期的かつ広い視野を備えたサイクルスポーツ文化の創造を目指し、活動しています。



子ども向け自転車教室への協力

06

インストラクター

釣り人の目線に立って、さらなる釣り文化の高揚へ。

新しい釣りはいつも“現場”から——釣りの最前線で活躍するシマノのインストラクターと、常にお客様と接している遊漁船の船長(船釣り・磯釣り)の方々。共に釣り文化の創造を“現場”において実践、推進している存在です。シマノとの信頼関係の中で新たな価値提案が次々と実を結び、釣り文化の高揚につながっています。



ソルト・ビッグゲーム攻略の魅力を発信



テーマ3

楽しむ場・
機会の拡大

サイクリスポートイベント「シマノ鈴鹿ロード」や「シマノ・バイカーズフェスティバル」、
競技としての釣りの醍醐味を伝える「シマノジャパンカップ」。
シマノは、こうした日本でのイベントとともに、世界各地で自転車や釣りのイベントを主催・協賛。
競技者だけでなく、一般の人々にも楽しむ場を提供し、魅力を伝えていくことを目指しています。

01

シマノ鈴鹿ロード

シマノが主催する日本最大級の
サイクリスポートイベント「シマノ鈴鹿ロード」。

「シマノ鈴鹿ロード」は、初心者から国内外のトップレーサー、子どもから大人まで幅広く参加できる国内最大級のサイクリスポートイベントです。

ロードレースを、観る人にとっても魅力的なスポーツにしよう、観客がライダーと同じくらい熱狂する活気あるイベントにしようというかけ声のもと、1984年の第1回から現在も変わらず従業員自ら運営を行っています。お客様のため、ひいては業界のためという熱い想いで、多くの従業員が企画段階から参画。自ら現場に赴き、お客様と同じ空気を吸い、サービスを提供する。この精神に則り、イベント当日も受付から選手招集、コース誘導、ゴール審判、救護まで、幅広く運営に参加しています。

「シマノ鈴鹿ロード」はお客様に親しまれ、お客様と共に歩み、つくり上げてきたイベント。シマノはこれからも自転車を楽しむ場を提案してまいります。

※新型コロナウイルス感染防止の観点から2021年度大会は中止となりました。



第28回大会(2011年)
この年からチームタイムトライアルに女性クラスを追加

02

シマノ・バイカーズフェスティバル

マウンテンバイクを中心とした
日本最大級のサイクル
スポーツイベント。

南アルプスと八ヶ岳連峰に囲まれた豊かな自然を舞台に、2日間にわたって繰り広げられる「シマノ・バイカーズフェスティバル」。クロスカントリーやダウンヒルなどのオフロードレースから、トレイルライドやロングライドなどのツーリング種目まで、多彩なスポーツバイクの楽しみ方を提供しています。また近年は、地元の方々にもご協力いただき、地元の食材を振る舞うパーティーや、地元の野菜などを購入できるマルシェなどのイベントにも力を入れています。

※新型コロナウイルス感染防止の観点から2021年度大会は中止となりました。



03

シマノジャパンカップ 各釣種イベント

国内における競技スポーツとしての釣り振興と
多様な釣りを楽しむ“場”の提供に向けて。

シマノジャパンカップ 日本最高峰のフィッシングトーナメント

1984年、「シマノジャパンカップ」はメーカー主催の大会がまだ希少だった中でファンの要望に応じて、競技としての釣りを楽しむ場の提供と、釣りの社会的価値の向上を目的として始まりました。様々な釣種のトーナメントを全国規模で行っており、その競技レベルの高さやルール・順位づけの正統性が評価されています。

また、競技だけでなく、釣りファンに広く楽しんでいただくためのイベントも、多数開催しています。これからも釣り文化のさらなる発展を願い、幅広い活動を続けてまいります。

※新型コロナウイルス感染防止の観点から2021年度大会は中止となりました。

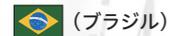


04

レース・イベントの主催・協賛

レース本場の欧米からアジアや中南米まで、世界各地で自転車や釣りのレース・トーナメント・イベントを主催、協賛しています。

■ 自転車イベント

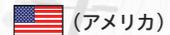


(ブラジル)
Cultural and Social Program

..... '19年スタート

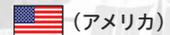
文化的・社会的自転車ツアーを支援

シマノラテンアメリカは、販売代理店を通じて、サンパウロ自転車ツアーのスポンサーを務めています。WEBで申し込み、2kgの食べ物を寄付すれば誰でも参加でき、自転車が無料で借りられます。ツアー中はガイドが訪問先の歴史や文化を解説します。参加者は英語・スペイン語の音声ガイドを聴くこともできます。



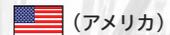
(アメリカ)
MTBライドイベントを開催 ①

..... '17年スタート



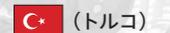
(アメリカ)
メディアイベントを開催 ②

..... '21年スタート



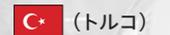
(アメリカ)
Tuesday Night Thunder (レース) を開催 ③

..... '18年スタート



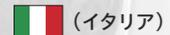
(トルコ)
Tour of Turkey (レース) をサポート ④

..... '08年スタート



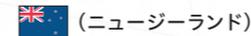
(トルコ)
E-Bike文化の創造 ⑤

..... '21年スタート



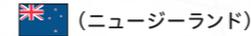
(イタリア)
E-MTBファンレースを開催 ⑥

..... '21年スタート



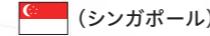
(ニュージーランド)
自転車イベントをサポート ⑦

..... '19年スタート



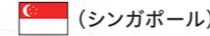
(ニュージーランド)
若手の自転車競技選手たちをサポート

..... '21年スタート



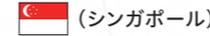
(シンガポール)
オンラインサイクリングイベントを開催 ⑧

..... '21年スタート



(シンガポール)
ツール・ド・フランスイベントを開催 ⑨

..... '21年スタート



(シンガポール)
Train It Yourself プログラムを開催

..... '21年スタート



(中国)
ツール・ド・フランス上海臨港
クリテリウムレースをサポート ⑩

..... '21年スタート



(台湾)
MTB プロモーションイベント開催 ⑪

..... '21年スタート



(台湾)
バンダーサイクリングイベント開催 ⑫

..... '18年スタート



(スペイン)
オンラインサイクルイベント開催

..... '21年スタート



(オランダ)
自転車イベントをサポート ⑬

..... '19年スタート

■ 釣りイベント



(トルコ)
環境を保全する釣り競技をサポート

..... '14年スタート



(中国)
シマノカップ・へら釣り大会を開催 ①

..... '21年スタート



(中国)
シマノアワーフェスティバル開催 ②

..... '19年スタート



(中国)
シマノフィッシングキャラバン

..... '15年スタート



(中国)
釣堀と提携してイベント開催 ③

..... '21年スタート



(イギリス)
従業員が実釣を体験 ④

..... '20年スタート



テーマ4
文化発信
拠点の展開

シマノでは自転車や釣りの新しい楽しみ方を伝える場を自ら構え、興味を持つ人々の裾野を広げるため、国内外に文化発信拠点を展開。新しい自転車文化・釣り文化の創造を志向するとともに、地域振興や国際交流の分野においても活動の幅はますます広がっています。

01

LIFE CREATION SPACE OVE (日本)

自転車の価値を再定義することで、豊かなサイクル・ライフスタイルを提案。

さらなる自転車文化の発展と、普段あまり自転車に乗らない人も含めより広く自転車の楽しみを知ってもらう機会の提供を目的に2006年にオープンした「LIFE CREATION SPACE OVE」。

「OVE」にはOpportunity (機会)、Value (価値)、Ease (気楽さ、容易さ)という理念とともに、人々がこれまでの自分を超越して魅力的なライフスタイルを追求する「Over Myself」という想いが込められています。店内には家具、雑貨などのセレクトアイテムを置き、各種イベントやセミナーも実施。新しい自転車文化の創造を目指しています。

OVEは2021年1月23日に15周年を迎えました。新たなニーズに合わせた取り組みとして各種講座やイベントの模様をオンラインで配信。参加者との交流を楽しみながら、OVEの活動について改めて幅広くご紹介する機会を設けました。



散走
散歩のようにゆったりと走り、道中で出会うモノ・コトを楽しむ



15周年オンラインイベント画面のトップページ
OVEの様々な活動をわかりやすくお伝えしました



15周年記念オンラインイベントにお越しいただいた方々をスタッフ一同でお迎え

02

SHIMANO CYCLING WORLD (シンガポール)

東南アジアにおける自転車文化の発展とシマノブランドの浸透に向けて。

シンガポール中心部にあるアジア最大級のスポーツ複合施設 Singapore Sports Hub内に2014年にオープンした「SHIMANO CYCLING WORLD」。

自転車をテーマとした広さ約650㎡の体験型展示施設で、シンガポールにおける自転車文化の発展と、ライフスタイルとしての自転車利用の推進、さらには東南アジアにおけるシマノブランドの浸透を目的に、人々が自転車をより身近に感じ、新しいライフスタイルを実現できるよう様々な提案を行っています。



Cycle Cassette
自転車の進化と歴史をたどる



The Forge
自転車の技術と機能を体感する

03

SHIMANO SQUARE (日本)

都市における「知的創造・交流の場」として上質な自転車と釣りの世界の魅力を伝える。

2017年にスタートした「SHIMANO SQUARE」。大阪市北区のグランフロント大阪・ナレッジキャピタルという多くの人が行き交う環境を生かし、自転車・釣りを通じたライフスタイルを提案するとともに、シマノが創造する文化的価値や製品の魅力の訴求を目指しています。カフェやブックライブラリー、自転車・釣りに関するギャラリー、そして上質なモノを扱うライフスタイルストアを設置。また講習会や各種ワークショップ、「散走」などのサイクリングイベント開催にも注力しています。

初心者でも気軽に参加でき、とくに2021年から取り組んでいる「RIDE & FISH」は、散走と釣りを同時に楽しんでいただくイベントとして注目されています。



RIDE & FISH
散走と釣りを同時に楽しむ

04

SHIMANO EXPERIENCE CENTER (オランダ)

自転車・釣り・ロウイングの
楽しさをより多くの人に。

ドイツ・ベルギーとの国境に近いオランダ南部の街、ファルケンブルグ。自転車のプロロードレースの開催地としてもサイクリストに有名なこの街に、2019年「SHIMANO EXPERIENCE CENTER」がオープン。施設内は自転車部品、釣具、ロウイングと、シマノの事業領域全てを集約。豊富な展示とバーチャルディスプレイやシミュレーターを備え、牧歌的で美しい周辺環境の中、実体験を通じてシマノ製品に直接触れ、最新の技術を体験できる場を提供します。

ラウンジやワークショップエリアでは、ビジネス関係者や地域の学校、サイクリングクラブなどの団体にイベントを行う機会を提供するとともに、子ども向けの様々なイベントを主催。多くの人々に自転車、釣り、ロウイングの楽しさを訴求し、訪れるたびに新たな発見や体験を提供し続ける場所を目指しています。

2021年、シマノエクスペリエンスセンターがファルケンブルグに建設したトレイルは、オランダでもっとも持続可能なMTBトレイルとして表彰されました。



屋外イベント



バイクワールド



フィッシングワールド

05

SHIMANO EXPERIENCE CENTER (中国)

スポーツ自転車の復興を目指す。

「中国のスポーツ自転車市場の再開拓」を目的に、江蘇省南京に2019年「SHIMANO EXPERIENCE CENTER」を設立しました。自転車に関する書籍、変速のデモスタンド、映像、バーチャルライド機器、テストバイクなどを用意し、来場者の心を捉えます。SNSによるテーマ別コンテンツの発信も行っています。



06

シマノ自転車博物館 [旧自転車博物館サイクルセンター] (日本)

豊かな自転車文化の創造を目指して。

「自転車博物館サイクルセンター」は、(公財)シマノ・サイクル開発センターが1992年4月に大阪府堺市で開館した日本で唯一の登録自転車専門博物館です。2022年3月、堺市大仙公園内から南海堺東駅近辺に移転し、「シマノ自転車博物館」として新しく開館します。現在の博物館より展示面積を約3倍に拡張。「ここへ来れば、だれもが自転車に乗りたくなる」をコンセプトに、多様な視点から自転車の魅力を発信し、自転車の真価の発見と自転車に乗りたくなるような気持ちの創出を目指します。

旧自転車博物館で行っていた乗り方教室、クラシック自転車体験試乗、子ども自転車安全教室などの自転車ひろば事業は、移転後も大仙公園内の自転車広場で継続して活動してまいります。

2022年3月に開館の
「シマノ自転車博物館」



自転車安全教室

子ども絵画コンクール



シマノ自転車博物館

利用環境の改善と保全

—— 自然環境、生活環境、製品利用環境の改善と保全への協力

当社の製品をお使いいただくフィールドである地球環境の改善と保全のための活動を続けることは、当社の重要な課題です。事業活動における環境負荷を最小限に抑えるため、製造工程の様々な設備改善・革新につねに取り組むとともに、梱包の省資源化、さらには海岸や河川といったフィールドの清掃や環境保全活動も積極的に行っています。当社が取り組んでいる持続可能な環境配慮に関する基本的な考え方と2021年度の活動についてご紹介します。



シモノ下関工場 (山口県下関市)
写真: プレイスメディア

持続可能な環境づくりを目指して

地球環境の保全は世界の最重要課題であり、自然を楽しむ製品をつくるシモノにとっても、持続可能な社会の構築に寄与することは当然の使命と言えます。様々な環境活動を展開する一方、メーカーとしての本来の活動であるものづくりにおいても、製品そのものから包装や物流まで含めた総合的な取り組みを行っています。製造プロセスにおけるCO₂排出量の削減、使い捨てプラスチックの削減、取水量の低減、それぞれのテーマに合わせたきめ細かい活動を積み重ねています。



シモノ昆山 (中国・昆山市)



シモノマレーシア (マレーシア・ジョホール)



シモノヨーロッパ (オランダ・アイントホーフェン)

美しく良好な地球環境を守るための取り組み

シマノ製品を楽しんでいただくため、そのフィールドである地球環境の改善と保全は、当社グループの重要な課題です。持続可能な環境づくりに寄与する活動は、同時にシマノグループの競争力を高めることにもつながると考え、次の活動を積極的に推進しています。



1. 気候変動をもたらすCO₂排出量の削減

本社工場及びシマノ熊本は2021年6月、下関工場は7月に再生可能エネルギー由来の電力を導入、海外の一部工場では再生可能エネルギー証書を購入

省エネを重要な課題の一つとして捉え、生産性とのバランスを考えたトータルなエネルギー効率を追求し、削減対策を実施しています。

CO₂排出量 (スコープ1+スコープ2)

※集計範囲：国内外の工場全て



※2021年のCO₂排出量は1月から11月までは実績値、12月は推定値にて算出しています。
 ※2021年よりCO₂排出係数の適用方法を変更しました。この変更を過年度にも遡及して適用しています。

2. 使い捨てプラスチック使用量の削減

2020年から梱包などで使用するプラスチックの削減を開始

当社では、使い捨てプラスチックの使用量を削減することにより、資源の無駄遣いをなくし、資源循環型経済の実現に貢献します。

〈プラスチック使用量の削減に向けた具体的な活動〉

- 梱包資材のプラスチック廃止または削減、紙への置き換え
- 再生紙の積極的な利用
- 印刷量の低減による、インク使用量の削減
- 梱包の見直しによる小型化
- リサイクルフレンドリーな梱包

梱包で使用する使い捨てプラスチックフィルムの削減



使い捨てプラスチックカバーの削減



3. 取水量を把握し喝水など水リスクの影響を極小化

取水量の継続的なモニタリング、Aquaduct*及び拠点へのヒアリング調査による喝水リスクの特定と改善。なお、2021年現在、喝水リスクが高いと判断される拠点はなし

*国際環境NPOの世界資源研究所(WRI)が作成した世界各地の水リスクを評価するツール

当社では、2020年から国内外全生産拠点の取水量が見える化し、その低減に向けて積極的に取り組んでいます。また、生産拠点では、環境負荷を低減する排水処理システムの実現のみならず、そこで処理された水を再利用するための取り組みを行っています。

取水量

※集計範囲：国内外の工場全て



※2021年の取水量は1月から11月までは実績値、12月は推定値にて算出しています。

海外拠点の取り組み

世界に広がるシマノの拠点では、エネルギー使用および効率を可視化し、業務や組織体質の改革などを通して、省エネルギー化を進めております。

シマノシンガポール工場、シマノマレーシア工場、シマノ天津工場は、ISO50001 エネルギーマネジメントシステム*を取得しており、その他の海外工場も同認証の取得を目指し、改善・改革を進めております。

*組織のエネルギーパフォーマンスを可視化し、その改善によるコスト削減を実現するための国際規格。

1. CO₂ 排出量の削減

🇲🇾 エネルギー効率の高い設備の導入 '21年スタート

シマノマレーシアは、データ分析によりエネルギー消費量の大きい設備を特定し、空調機器をはじめ、冷却塔やコンプレッサーなどの工場付帯設備をエネルギー効率の高いものに更新することで、CO₂排出量を削減しています。



🇺🇸 太陽光発電システムの導入 '21年スタート

シマノオーストラリアは、CO₂排出量削減の取り組みとして、太陽光発電システムを導入しました。



🇨🇳 省エネ活動の推進

シマノ天津は、9月26日にISO50001の認証を取得しました。この認証は、エネルギー消費量を削減し、エネルギー利用効率を改善する効果的な管理システムを確立したことを証明するものです。



2. プラスチック使用量の低減

🇧🇪 環境に配慮した包装を導入 '21年スタート

Lazer Sport N.V.は、2021年から新しい包装ラインナップを導入しました。これにより、1点当たりのプラスチックとインクの使用量を明確に削減できます。(プラスチックは約11g削減)。

🇮🇹 プラスチック使用量の削減 '19年スタート

シマノバタムは、工場内の「無駄ゼロ」の実現に向けて、プラスチックのみならず、環境に影響を与える全てのものについて、CO₂排出量の削減に重点を置いた取り組みをしています。



🇮🇹 非営利団体 Ocean Cleanupへの寄付活動 '05年スタート

シマノヨーロッパは、海洋プラスチックを清掃する非営利団体Ocean Cleanupに寄付をしています。この団体は、海洋浄化システムと河川遮断方式によって、世界の海からプラスチックを除去する高度な技術を開発しています。

🇨🇳 プラスチック使用量の削減 '20年スタート

シマノ天津は、プラスチックの使用量を効果的に削減してきました。3Rへの取り組みを強化し、製品の梱包や輸送にプラスチック材料を使用しない、または最小限に抑えるよう努めています。

🇨🇳 梱包材を段ボール紙に切り替え '21年スタート

シマノ昆山は、プラスチックの使用量を削減するため、製品の梱包箱に入れる詰め物を発泡スチロールから段ボール紙に切り替えました。



🇹🇼 廃棄プラスチックを調査 '21年スタート

PRO台湾は、包装に使われているプラスチックの量と重さを調査し、包装から出る廃棄プラスチックを減らす方法についてベンダー様と議論を開始しました。

🇪🇸 プラスチック使用量の削減 '21年スタート

シマノイベリアは、全ての従業員に陶器のマグカップとボトルを支給しています。使い捨てのプラスチックを使わず、各自が自分のマグカップとボトルを洗って、繰り返し長く使用しています。

3. 水資源への取り組み

🇺🇸 水の再利用 '12年スタート

PEARL IZUMIは、7エーカーの敷地に9つの濾過槽を持ち、建物外部、敷地、駐車場からの全ての雨流水を集めて、7種類の砂や土で濾過し、地下水として戻しています。



🇮🇹 水の再利用 '20年スタート

シマノバタムは、EDコーティングで排出される蒸留水を冷却塔に補充して再利用しています。

🇸🇬 節水プログラムを継続実施 '15年スタート

シマノシンガポールは、2015年から、工場の水の消費量をモニタリング、報告することを目標に掲げられました。冷却塔の水の消費を減らす、エアコンの凝縮水を冷却塔に再利用などの改善プロジェクトを実施しています。



🇨🇳 節水と水の再利用 '21年スタート

シマノ天津は、製造工程における節水と水の再利用を実施しています。

1. 導電率を利用して亜鉛メッキの洗浄水の品質を制御・自動給水
2. 脱脂工程の洗浄水を亜鉛メッキの洗浄に再利用
3. Eコーティング後に高度濾過装置を通して塗料の不純物含有量を減らし、洗浄を廃止

🇨🇳 水資源を保護 '97年スタート

シマノ昆山は、水資源を保護するための対策として、工場廃水を十分に処理したうえで排出しています。



🇨🇳 水の再利用 '15年スタート

シマノ昆山は、生産ラインから出る廃水を、処理要件に適合した高度な処理をして純水に再生したうえで再利用しています。



身近な環境に対する取り組み

〈植樹活動〉

森林再生プロジェクトを支援 '21年スタート
シマノヨーロッパは、環境負荷低減の取り組みとして、植樹活動のプラットフォームTreedomと協同で、世界中の森林再生プロジェクトを支援し、マダガスカルとグアテマラに「Shimano MTB Clothing Forest」を造成しています。

ミリオンツリープロジェクトを支援 '09年スタート
シマノ昆山は、非営利団体Shanghai Roots & Shootsの植樹活動「ミリオンツリープロジェクト」に協力して、寧夏のマオウス砂漠地帯に5,000本の樹木を寄贈しました。

社会貢献活動 '19年スタート
PRO台湾は、休日にシマノ台湾が実施する海岸の清掃や環境保全のための植樹などの社会貢献活動に参加しています。



植樹活動を継続実施 '17年スタート
シマノトルコは、地中海沿岸全域で発生した大規模な山火事後、自然保護団体と動物保護団体の2つのNGOに合計2,500本の樹木を寄付しました。

〈清掃活動〉

清掃活動を実施 '19年スタート
シマノトルコは、全ての釣り競技大会において会場周辺の清掃活動を実施しています。

トレイルの建設と清掃活動 '18年スタート
PEARL IZUMIは、毎年ボランティアでトレイルの建設と維持に協力しています。これは、サイクリングコミュニティに直接役立つだけでなく、従業員のチームワークづくりにも非常に有効です。今回はトレイルの建設に加え、地元の自転車道の清掃も行いました。



清掃活動を実施 '05年スタート
シマノ熊本は、地域への貢献として近隣の清掃活動などを継続的に実施しています。



釣り場の清掃活動を支援 '21年スタート
シマノUKは、英国の川、湖、運河、海岸などの水辺周辺のゴミの清掃に携わる釣りクラブのスポンサーをしています。

貯水池の清掃活動に参加 '21年スタート
シマノ連雲港は、建国記念日に、朝陽市の貯水池の清掃活動に参加しました。



アースアワー活動に参加 '16年スタート
シマノ昆山は、地元の亭林園で開催されたアースアワーの福祉活動に参加しました。グリーンサイクリング、環境プロパガンダ、ゴミの分別、消灯などを通じて、地球環境の保護を訴えました。



湖の清掃活動を実施 '21年スタート
シマノイタリアは、釣りの基本である清潔でゴミのない環境を守るため、コイ釣りをする従業員たちが先導して、カラブリア州シーラ地方のアンボッリーノ湖周辺の清掃活動を行いました。この湖には貴重な魚種が多く生息しています。



〈環境負荷の低減〉

オフィスの節電 '14年スタート
シマノトルコは、オフィスの全ての設備の電力消費を必要最小限に抑え、暖房は個別方式を基本としています。

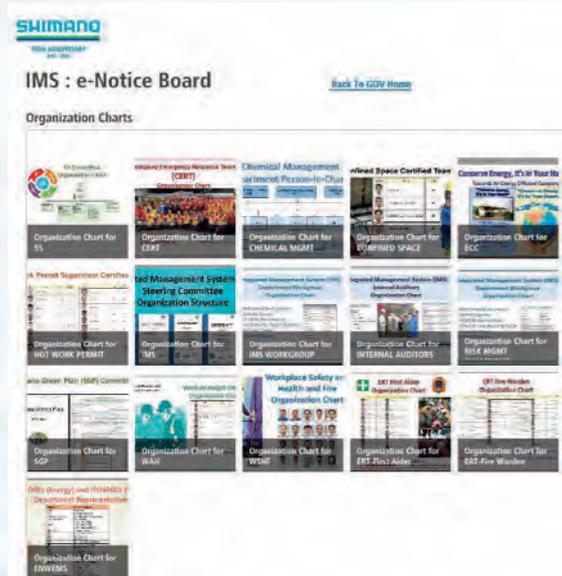
E-Waste リサイクルプログラム '14年スタート
シマノシンガポールは、廃棄物の削減・再利用・リサイクルを促進する3R活動を進めています。廃棄物を収集センターで、一般、金属、紙、プラスチック、電子機器などに分類し、2021年からは全ての廃棄物を一元化して報告することで、リサイクルの意識向上と管理を行っています。

植栽の廃棄物を堆肥にリサイクル '20年スタート
シマノシンガポールは、植栽の枯れた植物から堆肥をつくることで環境保全を促進します。堆肥化により、廃棄物のほかに土質改良剤や肥料の使用量が削減できます。2020年以降、約200kgの堆肥が会社の敷地周辺で使用されています。



 **書類のデジタル化を実施** '21年スタート

シマノシンガポールは報告と承認のプロセスを、紙ベースからデジタルに切り替えました。E-Notice Boardで情報を共有することにより、効率化、記録保持管理の促進のほか、紙の使用と印刷を最小限に抑えることができます。



 **休憩室とオフィスでリサイクルを実施** '15年スタート

Innovative Textiles, Inc. の全ての休憩室には、従業員が再利用可能なものを入れる容器を設置しています。またオフィスの各所に、再利用に回す紙を回収するための箱を設置しています。

 **アセトンのリサイクルを実施** '19年スタート

Innovative Textiles, Inc. は、染料のアセトン成分を蒸留除去する工業用溶剤でスクラップ染料を処理しています。このアセトンは、新しい染料をつくるのに再利用できます。これにより、当施設から出る有害廃棄物を減らし、最終的にはなくすることが可能です。



 **機械洗浄の際の廃水を削減** '20年スタート

Innovative Textiles, Inc. は、機械部品を洗浄する際の廃水を減らすため、蒸気ボイラーを設置しました。超音波タンクを使った洗浄効果により、洗浄に必要な化学薬品を削減できます。水が持つ摩擦力を利用して汚染物質を分解する仕組みです。

 **電子部品と金属のリサイクル** '21年スタート

Innovative Textiles, Inc. は、工場内で使用できなくなった電子部品（コンピューター、キーボード）と金属片（ドラム缶、スクラップ）のリサイクルに体系的に取り組んでいます。全ての部品、金属片が地元企業の協力によりリサイクルされています。

 **紙の分別とリサイクル** '21年スタート

シマノイベリアは、従来のゴミ箱の代わりに、紙、プラスチック、有機物（食堂の場合）それぞれのリサイクル容器を設置しました。紙は全てリサイクルのために同じ容器に入れ、他のものと混合されないようになっています。

シマノグリーンプラン  '04年スタート

2004年以来、環境負荷・健康負荷の低い製品づくりを行うための指針として、シマノグリーンプラン (SGP) を策定し、協力会社と協働してその遵守に取り組んでいます。

■ 環境負荷・健康負荷の低減

SGPは、当社製品を構成する原材料・部品・製品に含まれる化学物質の規制値を明確にし、協力会社にも周知徹底することで、環境負荷・健康負荷のより少ない製品と安心を世界中のお客様にお届けすることを目的とした調達基準です。年々厳しくなる国内外の法規制や顧客要求に応じてSGPを改訂し、協力会社へ理解と協力を要請するとともに、社内の分析機器や外部分析機関の活用により製品の適合確認を行い、お客様に信頼される製品づくりを進めています。



■ 法規制遵守への取り組み

2021年も法規制への対応に向けて取り組みを進めてまいりました。

- 新たな法規制を取り入れたSGP改訂版の発行準備
- 国内および海外SGPコミッティーメンバーと情報共有し、連携して対応



海外SGPコミッティーメンバーとのオンライン会議の様子

■ 化学物質問い合わせ対応

環境や健康への意識の高まりとともに、EUのREACH規則^{*1}、POPs規則^{*2}、RoHS指令^{*3}などの各国法規制の遵守や、お客様である完成車メーカー様の自主基準への適合を要求されることも増えています。当社では、お客様からの各種問い合わせを受け付け、SGP遵守状況と照合し、その結果を回答文書や適合宣言書にまとめ提供しています。また、EUでの高懸念物質の登録・公開制度も開始され、その要求に沿った必要な情報開示も開始しています。

*1: 化学品の登録、評価、認可及び制限に関する規則
 *2: 残留性有機汚染物質に関する規則
 *3: 電子機器における特定有害物質の使用制限に関する指令

■ 企業価値を高める活動へ

要求が複雑化する法規制に迅速に対応するためには、これまで蓄積した情報を短時間で的確に抽出することが不可欠と考えています。事務的負荷軽減を含め、システム導入による効率的な情報コミュニケーションの実現に向けた活動に取り組んでいます。今後もサプライチェーンにおける製品含有化学物質管理を強化し、環境や健康に配慮した製品づくりを継続して推し進め、企業価値の向上を目指します。

■ エネルギー分散型蛍光X線分析装置更新によるスクリーニング検査能力の向上

2021年5月に本社の分析装置を入れ替えました。これにより以下の効果が見込まれています。

- 分析可能元素の4元素増加によるスクリーニング対象の拡大
- 機能向上による分析時間の短縮
- 検出限界改善による更なる微量分析の実現
- 冷却用液体窒素^{*4}補充が不要となりメンテナンス性が向上

*4: 温度が-196℃と低温のため取扱いに注意が必要な液体

信頼の構築

—— 地域社会に企業市民として
参加し協働する

寄付・慈善活動

バタムにマスク12万枚を寄付 '21年スタート
シマノバタムはシマノシンガポールと共同で、バタム市政府に、コロナ対応に役立ててもらうため、12万枚のマスクを寄付しました。バタム市長室で地域長官がマスクを受け取りました。



南アフリカの児童福祉施設に寄付 '21年スタート
シマノヨーロッパは、南アフリカ・バンバナニの0歳から6歳の子どものたちが通うデイケアセンターと学校に、子どもたちの栄養失調や虐待のリスクの軽減を目的とした寄付をしました。

青少年支援財団 Sports and Cultureに寄付 '21年スタート
シマノヨーロッパは、貧困の危機に瀕する子どもたちの身体的、精神的、社会的能力の開発をスポーツや文化的イベントを通じて支援する財団に寄付をしました。

地域社会とのコミュニケーションを密にし、企業市民として共存・共栄を図ることは、当社の理想とする企業姿勢です。日本はもとより、世界各地に拠点を置く地域社会の一員として、地域と一体となって取り組める活動を積極的に行っています。

全世界に広がるチームシマノの拠点は独自に考え、信頼を育んでいくための活動を継続して行っています。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、従来と同様の活動が難しい状況下にあっても、サポートを必要としている方々のお役に立てるよう、今後も私たちにできることを行っています。

メイク・ア・ウィッシュ財団に寄付 '21年スタート
シマノヨーロッパは、重い病気の子どもの願いを叶える手助けをする財団に寄付をしました。

WWF (世界自然保護基金) に寄付 '21年スタート
シマノヨーロッパは、シマノの企業使命に則り、グローバルに人と自然のつながりの強化に貢献するため、WWFに寄付をしました。

チャリティイベントの開催と支援 '19年スタート
シマノエクスペリエンスセンターは、病院などの公的機関と協力して、チャリティイベントを開催しました。



地元の社会福祉団体の建物の改修を支援 '21年スタート
シマノパネルクスは、地元ヌンスピートにある Het Venster に寄付をしました。この組織は1979年に設立され、民間やその他の様々なボランティアが協同で運営する大きな社会福祉団体で、寄付は建物の改修費用の一部に充てられます。



Heart Foundationのキャンペーンに参加 '20年スタート
慈善団体「Heart Foundation」は、高血圧のリスクについて従業員へ啓発することに重点を置いたキャンペーンを実施しています。シマノパネルクスはこのキャンペーンに参加し、従業員への意識付けを行うとともに、年に一度の血圧測定日を設けています。

Nobel Gift 活動に参加 '15年スタート
シマノポーランドは、クリスマスの時期に、恵まれない人たちに少しでも喜びと明るさを感じてもらうため寄付や贈りものをする、ポーランド固有の慈善活動「Nobel Gift」に継続的に参加しています。

地域に消毒剤を寄付 '21年スタート
シマノマレーシアは、学校、消防署や警察署、高齢者施設など、地域の人々と共に COVID-19 に立ち向かうため、消毒剤を寄付しました。



地域にマスクを寄付 '21年スタート
シマノマレーシアは、地元ペカンナナスでクラスターが発生したことを受け、従業員、顧客、周辺地域、社会全体、全てのステイクホルダーを守るため、関係会社様と協力してマスクの寄付を行いました。



チャリティ釣りイベントを支援 '99年スタート
シマノドイツは、恵まれない子どもたちのためのチャリティ釣りイベント「Royal Fishing Kinderhilfe」を、スポーツ界、メディア、経済界の著名人が務めるアンバサダーと共に支援しています。

チャリティイベントを支援 '09年スタート
シマノドイツは、子どもホスピスなどの青少年の支援活動やチャリティイベントに対して、製品提供、プロモーションの協力、寄付などを行っています。



孤児院への寄付活動 '14年スタート
シマノカンボジアは地元の孤児院・訓練施設に毎月1tのお米の寄付と訪問を継続的にしています。

慈善団体に食料を寄付 '10年スタート
シマノラテンアメリカは、自社の自転車イベント「シマノフェスト」の期間中、参加者に食料1kgの寄付を募っています。今年は初めてオンラインでも開催し、SNSを通じて全国に大規模なキャンペーンを展開、各地のサービスセンターも食料の受け入れ窓口となりました。最終的に全国70都市・95の自転車店で集められた6tを超える食料を慈善団体に寄付しました。



子どもたちのための活動 '21年スタート

シモノ連雲港の従業員は、リハビリ病院に入院する子どもたちのお見舞いに行きました。



地域住民の健康と衛生促進活動 '21年スタート

シモノシンガポールとシモノカンボジアは協力して、コロナ下での健康と衛生促進のため、シモノカンボジアの従業員、近隣住民、地元自治体にマスク1,098箱、消毒剤450ℓ、飲料水1,200本を寄付しました。

シングルマザーの従業員を支援 '17年スタート

シモノマレーシアは、イスラム教の祝日であるイード・アル=フィトルの大祭に際して、シングルマザーの従業員に支援金を支給しています。



The Fox Fishing & Golf Festivalを開催 '21年スタート

シモノニュージーランドは、ワイヒビーチで釣りやゴルフのイベントを開催しました。参加者は4人1組で釣りとゴルフの腕前を競います。従業員もお客と一緒に参加し、地域の海岸警備と人命救護に役立ててもらうための寄付集めに協力しました。



教育支援

JINC (職業訓練・支援プログラム)を実施 '21年スタート

シモノヨーロッパは、JINCの一環として「Baasvan morgen, Tomorrow's boss」を開催しました。JINCは、生まれ育った環境によって子どもの将来のキャリアが左右されないことを目的とするプログラムです。



子ども向けプログラムの企画と実施 '19年スタート

シモノエクスペリエンスセンターは、自転車やロードを安全に扱い、自然を身近に感じてもらうための子ども向けプログラムを企画・実施しています。



大学生に奨学金を支給 '19年スタート

シモノマレーシアは、Tunku Abdul Rahman University College (TARUC) と提携して、高等教育を受けるにふさわしい優秀な学生に奨学金を支給しました。



学生インターンシッププログラム '14年スタート

Innovative Textiles, Inc. は、コロラド・メサ大学と提携して、人事、工学、IT、会計・財務を専攻する学生にインターンシッププログラムを提供しています。

大学生を会社と工場見学に招待 '14年スタート

Innovative Textiles, Inc. は、コロラド・メサ大学との提携関係をさらに強化するため、同学の学生を会社見学と工場見学ツアーに招待しています。

高校生の職業見習いプログラム '14年スタート

Innovative Textiles, Inc. は、地元の学区の職業教育プログラムに協力して、高校生に物流技術者と保守技術者の見習いプログラムを提供しています。



地元の小学生との交流 '14年スタート

シモノ昆山は、地元の小学校で「自転車と釣り」をテーマにした絵画コンテストを行い、入賞した児童に賞を授与しました。



自立支援団体施設での清掃活動 '18年スタート

シモノ台湾の従業員とその家族は、知的障がいのある子どもたちが自立し、自信を持ち、日常生活に適應できる能力を身につけるよう訓練・支援をしている団体に出向き、施設の清掃を手伝いました。



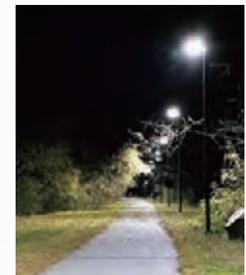
地域の自転車利用促進

子どもの交通安全を支援 '21年スタート

シモノヨーロッパは、自転車通学をする子どもたちの交通安全の向上を支援するため、VVN (オランダ交通安全協会) に寄付をしました。正しくライトをつけることの意識啓発を目的としています。

自転車道に照明を設置するための寄付 '21年スタート

シモノカナダは、オフィスのあるオンタリオ州ピーターバラのプロジェクトを支援。シモノカナダのスタッフを含め多くのサイクリストが自転車通勤の際に利用する、Rotary Trail という道路に照明を設置するための寄付を行いました。ピーターバラの中心部には古い鉄道がありましたが、近年それが自転車と歩行者のための道路に造りかえられています。



自転車エアポンプステーション '15年スタート

COVID-19の感染防止のため、交通安全公園でのイベントは減少していますが、シモノシンガポールは、定期的に自転車の空気入れの掃除や手入れを実施し、自転車エアポンプステーションを維持管理しています。

MTB TRAIL REWARDSで金賞 '19年スタート

オランダで最も耐久性のあるマウンテンバイクトラックとして、シモノエクスペリエンスセンターの近くから始まるファルケンブルグのシモノトラックが、金賞を獲得しました。



Pedal to Zeroキャンペーン '21年スタート

PEARL IZUMIは新しい消費者キャンペーンPedal to Zeroを導入しました。サイクリングウェア1点ごとの生産で排出されるCO₂を差し引きゼロにするには、車の代わりに自転車でのぐらゐの距離を走ればいかを、個々の消費者のカーボンオフセットに換算するものです。



社会活動報告書を読んで



藤江 俊彦

千葉商科大学名誉教授
(一社)日本経営管理協会 会長
(一社)日本経営管理学会 代表理事・副会長

新型コロナウイルスによるパンデミックが長引き人々は元の生活に戻りたいとする一方で、現代文明でも容易に越えられない感染症の閉塞感から、将来へのパースペクティブを描ききれない様子が見受けられる。その中で人々は自然とのふれあい、自転車や釣りによるよこび、健康への価値を提供するシマノを支持してきたのではないかと、業績が増収増益を続けていることがそのことを明示している。

今回の社会活動報告書には、「シマノだからこその価値創造とは何か」を問いながら、各拠点で工夫を凝らして活動したことが種々感じられる。まとめは4つのテーマ分野でフォーカスした。

<企業価値の向上を目指して>

自転車部品事業では、ロードバイク用コンポーネンツ代表モデル「DURA-ACE」のスピードを究極まで高め、同じく「ULTEGRA」もモデルチェンジし、上質ドライブを目指してユーザー・デマンドを実現したことがうかがえる。釣具事業でも巻き上げ力が強く耐久性のあるリールやロッドなど、多彩なフィールドで使用できる進化したロッドも安定と信頼感を抱かせる。「NRX+ T2S」が米国最大級の釣り具展示会 ICAST で「フライ・フィッシング」賞を受賞したことは、製品を通してのユーザーとの価値創造に貢献したことになるだろう。シマノを支える人づくりでは、企業価値創造の基本、本質を学ぶオンライン研修や通信教育などを実施し、特にトルコでのストレス軽減研修はメンタルヘルスの点から注目される。中国天津では医療従事者到着までの応急処置訓練を実施しており、労働安全衛生への取り組みの積極性を知ることができた。気候変動、地球温暖化に対する各国拠点での防災訓練は今後も継続してもらいたい。

「SHIMANO」のブランド力が高まると模倣品が出てきた。すでに世界各地で補修用パーツなどの模倣品の流通が確認され、具体的対策を挙げている。実際に毅然として対応することが望まれる。ネット上にもシマノを装った不審なサイトが散見され対策事例を挙げたが、今後デジタル化が進むと一層多様なものが出てくるのが予想される。公式サイト URL の判定システムを設置したことは適正だが、常に新たなセキュリティの備えを怠らないようにすることが必須だろう。コンプライアンス促進については「行動規範」「コンプライアンス規程」「コンプライアンスガイドライン」を制定、その確立のために「意識の醸成」「知識習得」「行動促進」の3要素の向上を目指し継続的に取り組んできた。ガイドライン記載の22テーマの1つを、毎月継続して社員に発信、受講率が97%という高さには驚く。全社員へのコンプライアンスの意識調査、その結果を踏まえた内容をeラーニング活動に反映するのは、「良識ある企業人」づくりへの本気度が読みとれる。とりわけ「ベンダー行動規範」を制定し取引先に理解と実践を求め、サプライチェーンでの人権保護を強化しているのは高く評価できる。欧州企業の中には人権保護・コンプライアンスの監査ルールの受け入れを要請するケースもあり、今後ルールを守るだけでなく自社の考えを十分説明、主張する「アドボカシー」の力をつけてもらいたい。テクノロジー・イノベーション・センターは「開発型デジタル製造業」としてモノづくりの企画・開発・デザインなど進化する価値創造の中心的役割を担い、すでにIoTを活用したインテリジェント・プラントが堺市の本社工場だけでなく下関市、シンガポール、中国昆山市で稼働している。未来社会を先取りする企画・生産プロセスとして位置づけられよう。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ取り組みは2020年3月「Covid-19対応マニュアル」を制定、適宜対策を実施してきた。具体的対応はオーソドックスだが、本社でクラスター発生をゼロに抑えたことは社員の真面目な実践によるものであろう。欧州各地ではリモートワークや半数出勤、オフィスでの防護スクリーン設置、職域ワクチン接種で社員、家族、協力会社社員へも対象を広げていることなど、チームシマノとしての健康志向の強さを知ることができる。労働安全衛生の国際標準規格ISO45001を9月に取得、この対象もシマノ社員だけでなく近隣住民や顧客、協力会社にも広がり、危険源にハラスメントやいじめなどの社会的要因も加わり一層社会性が増した。本社工場でのドレスコードや緊急時対応などを掲載した「安全ルールブック」を作成、社内への浸透を図るのは効果的であろう。本社ビルに「安全・品質 学びの場」として「安全道場」「品質道場」のブースがあり、過去の重大事故や品質問題からの教訓や体験知をわかりやすく展示している。身近にあると社員の意識や理解力もあがると思われる。

コロナ禍、自転車通勤が都市部でも増加しているが、シマノでは約4割の社員が自転車通勤登録し、会社に諸手当や必要な設備も整備している。できればそこでの課題や今後の目標などが示されるとさらによかった。また働き方についてテレワークやワーケーションについての記述もほしかった。

<よこびの高揚>

人々に自転車・釣り・ロウイングの楽しさを満喫してもらうため、「新しい自転車文化・釣り文化の創造を目指して」と題し、文化創造活動を4つの柱で紹介した。テーマ1では自転車と健康について、大学・研究機関と共同研究し、成果を自治体などと共有し、ウェブサイトやフリーペーパーで発信している。「釣りは文化」との考え方で広報誌やウェブサイトなどクロスメディアで情報発信、共に意義ある文化活動と言えよう。テーマ2は自転車のプロレースからアマチュアレースまで自転車競技を支えてきた。東京オリンピック、パラリンピックではソールサプライヤーとして競技備品やリペアサービスの提供、世界的スポーツ大会団体のフランスA.S.O.主催レースのニュートラルサポートパートナーとしても活動、プロ・アマ選手チームへのスポンサーやパラサイクリングへの支援、レースサポートなど貢献度は大きい。テーマ3は楽しむ場、機会の拡大として、各種イベントを主催・協賛している。子どもから大人まで誰でも参加できる国内最大級サイクルイベント「シマノ鈴鹿ロード」など、「場」の提供や各種レースを世界各地で主催・協賛しており、コロナ禍で中止もあるだろうが継続的文化活動として高く評価できよう。テーマ4の文化発信拠点の展開では、自転車や釣りに興味を持つ人々の裾野を広げるため、世界各地に拠点を設けている。東京青山「OVE」は15年、シンガポール「CYCLING WORLD」は7年、大阪梅田の「SHIMANO SQUARE」も4年になり、継続する活動で自転車や釣りの文化を根付かせ、ユーザーやファンづくりにつながっているのではないかと。創業地堺市では「シマノ自転車博物館」が2022年3月に移転して開館、「自転車に乗りたくなる」をコンセプトにした展示や体験広場に期待したい。

<利用環境の改善と保全>

シマノは地球環境の保全、改善を重要課題と捉え、環境負荷低減活動を実施している。CO₂排出量削減のため本社工場、シマノ熊本、下関工場では再生可能エネルギーを導入、「省エネ」を課題の一つと捉え、生産性とのバランスでトータルエネルギー効率を追求した。掲示のCO₂排出量のグラフは2017年から減少傾向だが、売上は逆に増加しているのが印象的だ。低炭素に向けて梱包に使うビニール袋の使用を削減、紙や再生紙にするなどきめ細かい。注目したのは取水量を国内外生産拠点で見える化し低減に取り組んでおり、漏水リスク等への姿勢は先見的で高く評価できる。また世界の各生産拠点での省エネ化、太陽光発電、プラスチック削減、水の再利用、水資源保護などの対応はSDGsへの有意義な活動と言えよう。2004年以降のシマノグリーンプラン「SGP」は協力会社にも周知して共に進め、法規制の改正、顧客の要求などで改訂しながら、環境の改善と保全に寄与していることがわかった。

<信頼の構築>

世界各地に拠点をもつシマノにとって地域社会で企業市民として参加、協働することは「当社の理想」と報告書に書かれている。コロナ禍での信頼を構築する地道な活動として、チームシマノの拠点で自転車通勤の道路に照明を設置したり、地域にマスクや消毒液の寄付など、多くの社会貢献を積み重ねている。

本報告書ではパンデミックが広がる世界で、人と自然のふれあいによって価値を創造し、健康とよこびを実現しようとする多くの活動実績を開示した。それも世界各地でSDGsに沿った形で現状に向き合いながら実施していることを評価したい。自転車、釣りの製品はもとより幅広い社会活動によって、人々と共に価値を創造するシマノは“ビヨンド・コロナ”への希望を与えてくれる存在であってほしい。それがソーシャル・エンパワーメントにつながっていくのではないかと。



Closer to Nature,
Closer to People



シマノトリコロールプロジェクト

シマノは、創業100周年を機に、当社の使命を象徴するトリコロールラインをあしらったコーポレートブランドロゴを新たに制定しました。そして、人と自然をキーワードに、環境・社会・文化というテーマに取り組むシマノトリコロールプロジェクトをスタートしました。

SHIMANO

「大地・空・海」を表した、シマノの事業領域や目指している世界観を込めたトリコロール

自然をフィールドとして事業を展開するシマノは、「環境：美しく良好な地球環境」「社会：人々の安心で健やかな生活」「文化：文化の創造」を大切に、一企業市民として持続可能な社会の実現の一翼を担えるよう、積極的に活動してまいります。



環境
美しく良好な
地球環境



社会
人々の安心で
健やかな生活



文化
文化の創造

開発型デジタル製造業

シマノは、開発型デジタル製造業として、研究開発、製造システム、そして製品そのものにデジタル技術を駆使しています。SDM（シマノ・デジタル・マニュファクチュアリング）活動をはじめとしたDX（デジタル・トランスフォーメーション）に取り組むことで、社会環境・ビジネス環境の変化に対応し、顧客や社会・従業員のニーズに応えるためにビジネスモデルの変革を進めています。



「価値創造企業」として

人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。
シマノはこの使命のもと、つねに先進技術を駆使しながら、本当に信頼されるものづくりに取り組んでいます。
これからも日本発開発型デジタル製造業として「こころ躍る製品」をお届けすることを通じて、
自転車文化、釣り文化の創造に貢献する「価値創造企業」として着実に歩んでまいります。

こころ躍る製品

■ バイシクルコンポーネンツ事業

地球規模での環境対策が問われている現代社会。極めて環境負荷の低い移動手段である自転車は、これからの時代にふさわしいスマート・モビリティとして大きな注目を集めています。私たちシマノは、世界のトップレーサーが使用する競技用自転車から生活に密着した自転車に至るまで、世界中の様々な自転車に高品質で高性能なパーツを供給しています。



■ 釣具事業

釣りは、文学や科学、ドキュメンタリー、様々な分野で語られてきました。文化としての釣りを楽しむため、そして、新たな釣り文化を創造していくために、私たちは製品の提供とともに、その楽しさをより多くの人々に紹介する活動を大切にしています。



■ ボート事業

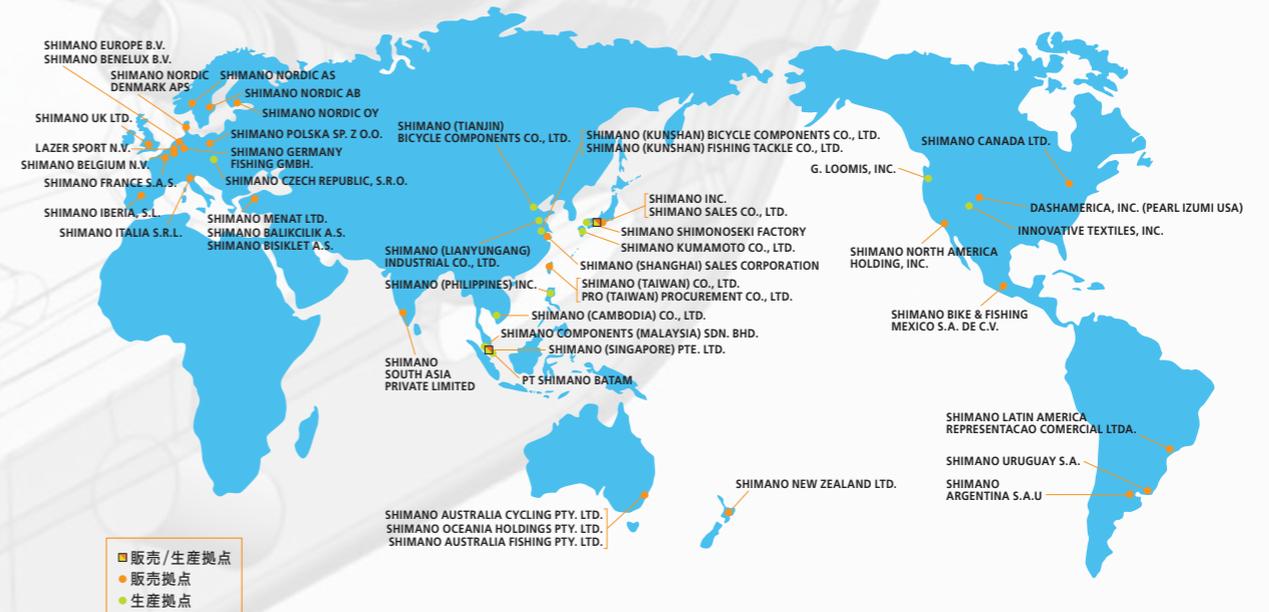
水上すれすれを疾駆する爽快感、チームメイトとの一体感、そして自然とのふれあい。ボート競技は、世界中の人を惹きつけてやまない魅力に溢れています。シマノでは、これまで培ってきた技術を活かし、ボート競技の世界にも挑戦しています。



写真：プレスメディア

会社概要

社名	株式会社シマノ
英文社名	SHIMANO INC.
本社住所	〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地
連絡先	総務管理部 TEL：072-223-3210 企業文化コミュニケーション部 広報課 TEL：072-223-3957
URL	www.shimano.com
創業	1921年2月(大正10年)
設立	1940年1月(昭和15年)
資本金	356億円
上場取引所	東証一部
従業員数	1,526人(単体) 13,198人(連結) (2021年12月31日現在)
主な事業	自転車部品、釣具、 ロウイング関連用品等の開発・製造・販売
連結子会社	51社(2021年12月31日現在)





株式会社シマノ

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地

企業文化コミュニケーション部 広報課

Phone: 072-223-3957

Fax : 072-223-6045